



平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月8日

上場会社名 OBARA GROUP株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6877 URL http://www.obara-g.com/  
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)小原 康嗣  
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画室長 (氏名)飯高 成美 (TEL)046-271-2124  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 平成29年6月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	21,833	△21.2	4,105	△32.4	4,518	△25.5	2,867	△22.9
28年9月期第2四半期	27,720	△0.1	6,073	1.7	6,067	△2.6	3,719	0.6

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 6,043百万円(226.2%) 28年9月期第2四半期 1,852百万円(△70.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	156.77	150.16
28年9月期第2四半期	200.47	192.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	61,495	39,881	64.7
28年9月期	56,039	34,951	62.2

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 39,797百万円 28年9月期 34,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	30.00	—	60.00	90.00
29年9月期	—	30.00			
29年9月期(予想)			—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	△9.3	7,200	△26.1	7,450	△21.2	5,000	△29.2	273.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年9月期2Q	20,869,380株	28年9月期	20,869,380株
29年9月期2Q	2,578,735株	28年9月期	2,578,451株
29年9月期2Q	18,290,735株	28年9月期2Q	18,551,332株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手した情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11
(2) 地域別販売状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年10月1日～平成29年3月31日）における世界経済は、米国において景気拡大の動きが持続したものの、アジア地域を始めとする新興国や欧州地域の緩やかな景気回復から、全体として低成長で推移しました。

我が国経済につきましては、個人消費の回復に足踏みが見られるものの、設備投資や工業生産が持ち直しの動きを示すなど、緩やかな景気回復が続きました。

このような状況の下、当社グループと深く関わる自動車業界につきましては、中国を中心としたアジア地域と米州地域などで、新モデル投入などによる設備投資が行われるとともに、生産活動についても堅調な動きが見られました。一方、同じく当社グループと深く関わるエレクトロニクス業界では、先端デバイスなど一部に活発化の流れがあるものの、不透明な需給見通しなどを受け設備投資への慎重対応を継続する向きも見られました。

当社グループは、このような経営環境に対応するため、各市場動向に応じ、設備品及び消耗品の拡販に努め、ローカルニーズに対応した製品投入を進めるとともに、技術革新・次世代装置などの高付加価値製品の開発にも注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、為替相場が前年同期に比べ円高に推移した影響などにより、売上高218億33百万円(前年同期比21.2%減)、営業利益41億5百万円(前年同期比32.4%減)、経常利益45億18百万円(前年同期比25.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億67百万円(前年同期比22.9%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①溶接機器関連事業

溶接機器関連事業につきましては、取引先である日系・欧米系・アジア系自動車メーカーにおいて、中国を中心としたアジア地域や米州地域などで堅調な設備投資が行われ、世界各地の自動車生産は概ね高水準となりました。このような環境の下、当部門として設備品及び消耗品の拡販を図ったものの、前年同期に比べ円高に推移した影響などをを受けて、業績は前年同期を下回りました。

この結果、部門売上高は161億88百万円(前年同期比15.1%減)、部門営業利益は36億91百万円(前年同期比16.0%減)となりました。

#### ②平面研磨装置関連事業

平面研磨装置関連事業につきましては、スマートフォンなど主要エレクトロニクス製品の堅調な販売動向を受け、取引先であるエレクトロニクス関連素材において、生産活動の回復が顕著となりましたが、設備投資については慎重な持ち直しの動きとなりました。このような環境の下、当部門として設備品及び消耗品の拡販を図ったものの、業績は前年同期を下回りました。

この結果、部門売上高は56億49百万円(前年同期比34.7%減)、部門営業利益は4億74百万円(前年同期比72.6%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 1 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は614億95百万円と、前連結会計年度末に比べて54億55百万円増加しました。現金及び預金が12億69百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が13億60百万円、有価証券が12億75百万円、棚卸資産が13億66百万円、有形固定資産が26億30百万円増加したことなどによります。

負債は216億13百万円と、前連結会計年度末に比べて5億25百万円増加しました。賞与引当金が4億8百万円、その他流動負債が4億48百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が6億13百万円、短期借入金が2億3百万円、未払法人税等が90百万円、前受金が3億27百万円、繰延税金負債が1億16百万円増加したことなどによります。

純資産は398億81百万円と、前連結会計年度末に比べて49億30百万円増加しました。利益剰余金が17億64百万円、為替が前期末より円安のため為替換算調整勘定が30億円増加したことなどによります。

### 2 キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は125億21百万円と、前連結会計年度末と比べて1億10百万円増加しました。

営業活動により得られた資金は19億27百万円となりました。税金等調整前四半期純利益が44億54百万円、収用補償金の受取額が5億30百万円となった一方、賞与引当金の減少額が4億68百万円、売上債権の増加額が1億64百万円、たな卸資産の増加額が6億69百万円、前受金の減少額が5億29百万円、法人税等の支払額が9億66百万円発生したことなどによります。

投資活動により支出した資金は18億93百万円となりました。定期預金の純減少額が6億92百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入が3億99百万円となった一方、有形固定資産の取得による支出が28億50百万円発生したことなどによります。

財務活動により支出した資金は9億62百万円となりました。短期借入金の純増加額が1億58百万円となった一方、配当金の支払額が10億98百万円発生したことなどによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の連結業績予想につきましては、現時点において概ね計画通りに推移しており、平成28年11月7日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,475	17,205
受取手形及び売掛金	14,708	16,068
有価証券	102	1,378
商品及び製品	3,738	4,144
仕掛品	1,976	2,577
原材料及び貯蔵品	2,684	3,043
その他	1,916	1,993
貸倒引当金	△672	△646
流動資産合計	42,930	45,766
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,900	7,562
土地	3,227	3,313
その他（純額）	3,715	1,596
有形固定資産合計	9,842	12,473
無形固定資産		
のれん	590	556
その他	587	688
無形固定資産合計	1,178	1,245
投資その他の資産		
投資有価証券	1,481	1,398
その他	663	671
貸倒引当金	△57	△59
投資その他の資産合計	2,087	2,010
固定資産合計	13,109	15,728
資産合計	56,039	61,495

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,762	4,376
短期借入金	400	604
1年内返済予定の長期借入金	13	14
未払法人税等	970	1,060
前受金	2,721	3,049
賞与引当金	1,073	664
その他	1,796	1,348
流動負債合計	10,738	11,118
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	7,049	7,042
長期借入金	102	100
繰延税金負債	2,753	2,869
役員退職慰労引当金	52	58
退職給付に係る負債	231	256
その他	161	168
固定負債合計	10,350	10,495
負債合計	21,088	21,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925	1,925
利益剰余金	41,919	43,684
自己株式	△7,784	△7,785
株主資本合計	36,061	37,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	289	450
為替換算調整勘定	△1,478	1,522
その他の包括利益累計額合計	△1,188	1,973
非支配株主持分	78	83
純資産合計	34,951	39,881
負債純資産合計	56,039	61,495

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	27,720	21,833
売上原価	17,631	14,175
売上総利益	10,089	7,657
販売費及び一般管理費	4,016	3,552
営業利益	6,073	4,105
営業外収益		
受取利息	166	121
受取配当金	9	10
為替差益	—	218
その他	97	120
営業外収益合計	273	470
営業外費用		
支払利息	20	10
為替差損	203	—
子会社本社移転費用	—	17
その他	56	29
営業外費用合計	279	57
経常利益	6,067	4,518
特別損失		
固定資産除却損	95	—
会員権評価損	0	64
特別損失合計	96	64
税金等調整前四半期純利益	5,971	4,454
法人税、住民税及び事業税	1,553	1,613
法人税等調整額	552	△31
法人税等合計	2,106	1,582
四半期純利益	3,865	2,872
非支配株主に帰属する四半期純利益	146	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,719	2,867

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	3,865	2,872
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	161
為替換算調整勘定	△1,973	3,009
その他の包括利益合計	△2,012	3,171
四半期包括利益	1,852	6,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,640	6,029
非支配株主に係る四半期包括利益	212	13

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,971	4,454
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	298	347
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	57	82
賞与引当金の増減額 (△は減少)	100	△77
受取利息及び受取配当金	△472	△468
支払利息	△175	△131
売上債権の増減額 (△は増加)	20	10
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△964	△164
未収入金の増減額 (△は増加)	2,286	△669
仕入債務の増減額 (△は減少)	△479	△39
会員権評価損	576	160
前受金の増減額 (△は減少)	0	64
その他	△3,017	△529
小計	420	△816
利息及び配当金の受取額	4,623	2,221
利息の支払額	169	152
収用補償金の受取額	△19	△10
法人税等の支払額	—	530
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,175	△966
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	3,597	1,927
有形固定資産の取得による支出	△843	692
有形固定資産の売却による収入	△1,557	△2,850
有形固定資産の除却による支出	22	34
投資有価証券の取得による支出	△108	—
投資有価証券の売却及び償還による収入	△5	△105
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	0	399
その他	△1,148	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	2	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,638	△1,893
長期借入金の返済による支出	823	158
自己株式の取得による支出	△7	△7
配当金の支払額	△872	△1
非支配株主への配当金の支払額	△1,301	△1,098
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△4	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,906	△11
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,268	△962
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△713	1,038
現金及び現金同等物の期首残高	△8,022	110
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,657	12,410
	12,634	12,521

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,075	8,645	27,720	—	27,720
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	5	5	△5	—
計	19,075	8,650	27,726	△5	27,720
セグメント利益	4,394	1,729	6,123	△50	6,073

(注) 1 セグメント利益の調整額△50百万円には、セグメント間取引消去△5百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△44百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,187	5,645	21,833	—	21,833
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	3	4	△4	—
計	16,188	5,649	21,838	△4	21,833
セグメント利益	3,691	474	4,165	△60	4,105

(注) 1 セグメント利益の調整額△60百万円には、セグメント間取引消去△4百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△55百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	14,191	△2.9
平面研磨装置関連事業	3,328	+12.9
合計	17,520	△0.3

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 金額は、販売価格で表示しております。  
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	17,763	△11.5	7,770	+8.3
平面研磨装置関連事業	6,533	+43.4	5,206	△11.5
合計	24,297	△1.4	12,977	△0.6

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	16,187	△15.1
平面研磨装置関連事業	5,645	△34.7
合計	21,833	△21.2

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 地域別販売状況

(単位：百万円)

	日本	アジア パシフィック	米州	その他	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	5,541	13,171	2,494	626	21,833	—	21,833
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,854	652	74	11	2,592	△2,592	—
計	7,395	13,823	2,568	638	24,426	△2,592	21,833
セグメント利益	768	3,068	349	41	4,227	△122	4,105

- (注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。